

第3学年 算数科学習指導案（活用）

平成 年 月 日（ ） 第 校時 指導者

1 単元名 ぼうグラフと表

2 単元目標

- 資料を目的に応じた観点で落ちや重なりなく分類整理し、進んで表や棒グラフに表そうとする。
(関心・意欲・態度)
- 資料を分類整理する目的に応じて観点を考えることができる。
(数学的な考え方)
- 資料を分類整理して表（1次元表，簡単な2次元表）や棒グラフに表すことができる。
- 表やグラフから数量をとらえたり，数量間の関係を読み取ったりすることができる。（表現・処理）
- 表（1次元表，簡単な2次元表）の作り方や棒グラフの読み取り方，かき方を理解する。
(知識・理解)

3 指導計画（全11時間）

次	時	型	主な学習内容	主な評価規準
1	1	活用	好きなスポーツの種類別の数を「正」の字を使って整理する。	(関) 落ちや重なりがないことや，合計欄を使って集計の誤りがないことを確かめようとしている。
	2	習得	調べた人数を表にまとめる。	(知) 資料を分類整理する要領や整理結果を表にまとめる方法を理解する。
2	1	習得	表と棒グラフを比較しながら棒グラフの読み方を調べる。	(知) 資料を棒グラフに表すことを知り，その読み方や有用性について理解する。
	2	習得	横軸に数量をとった棒グラフを読み取る。	(表) 数量が横軸に表されている棒グラフを読み取ることができる。
	3	習得	いろいろな目盛の大きさの棒グラフを読み取る。	(知) 棒グラフの読み取り方の理解を深める。
	4	習得	棒グラフをかく。	(知) 棒グラフのかく手順を理解している。
	5	習得	いろいろな棒グラフをかく。	(表) 向きや目盛の大きさを考えて棒グラフをかくことができる。
3	1	活用	簡単な2次元表を読み取る。	(考) 2次元表のしくみを理解し，有用性について考えることができる。
4	1	習得	棒グラフをかいたり内容を読み取ったりする。	(表) いろいろな表や棒グラフをかいたり読み取ったりすることができる。
	2	活用	好きな給食調べを整理する。	(考) 好きな給食調べを整理し，その仕方を説明することができる。
	3	活用	好きな給食調べを表や棒グラフに表す。	(表) 好きな給食調べを表や棒グラフに表すことができる。

4 指導上の立場

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容 D (3)「資料を分類整理し、表やグラフを分かりやすく表したり読み取ったりすることができるようにする。」を受けて設定した。

第2学年では、分類整理したことを表を用いて表したり、絵や図などを用いた簡単なグラフに表したりすることを学習してきている。第3学年ではこれらの学習を基にして、身の回りにある事象について、目的に応じて観点を決め、資料を分類整理して、これを表やグラフを用いて表したり、読み取ったりすることができることを主なねらいとしている。

また、簡単な2次元表を取り扱い、例えば日時や場所などの二つの観点から表を見ることができるようにする。そして、表の特色について理解したり、目的に応じて用いたりできるようにすることもねらいの一つである。

さらに、作った表から気が付いたことを話し合う活動を通して、資料の中の数量の大きさの違いをひと目でとらえることができるという棒グラフの特徴についても考えを深めることができるようにする。

(2) 児童の実態

児童の実態は削除しています。

(3) 研究テーマとの関連

研究テーマ「学び合い ともに伸びる 子どもの育成～伝え合いを大切にした算数の授業を通して～」にせまるために、本単元では次のことに留意する。

○単元全体では

- 棒グラフの読み方やかき方については初めて学習する内容なので、単元全体としては基礎的・基本的な知識技能の習得をねらいとする「習得に重点を置いた時間」を多く設定している。第1次から第3次では、資料の分類整理の仕方や、表やグラフの読み方・かき方等を習得する。そして、第4次では、それらを日常生活に活用することで、思考力や表現力をさらに伸ばしたいと考えている。
- 自分の考えに自信をもった話し合いにするために、自分の思いや考えを、ペアやグループで伝え合ったり確かめ合ったりした後、みんなの前で自分の考えを発表できるようにする。

○本時では

- 好きな給食調べをして、その結果を保護者に分かりやすく伝わるように表やグラフにして、算数通信にのせようと投げかけ、学習への意欲づけとする。さらに、回収した全てのアンケート用紙を実物投影機で一度に提示することで、もっと分かりやすく整理したいという意欲をもたせる。
- 既習事項を活用しながら、整理の仕方を自分で考え、ペアやグループで伝え合うことで、自分や友達の考えのよさに気づくことができるようにする。
- 一人一人の考えが分かるようにネームプレートを黒板にはり、個に応じた支援ができるようにするとともに、同じ観点を調べている児童が解決方法を伝え合いながら学習ができるようにする。
- 前時までの学習内容が分かるような教室掲示にしておき、いつでも既習事項の資料の整理の仕方や表やグラフのかき方などが想起できるようにしておく。

5 本時案（第4次第2時）

ねらい	好きな給食調べのアンケート結果を分かりやすく整理する仕方を考えることができる。	
学習活動	教師の主な発問と予想される子どもの反応	○教師の支援 ■個への支援
<p>1 本時の問題を知り、めあてをつかむ。</p> <p>2 調べ方を考え整理する。</p> <p>・一人で</p> <p>・ペアで</p>	<p>○気付いたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐちゃぐちゃでよく分からない。 ・整理した方がいいなあ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>アンケートの結果をよく分かるように整理しよう。</p> </div> <p>○どのように整理したらいいかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・棒グラフにすればいいよ。 ・表にしたらいいよ。 ・でも、その前に数が分からないといけないよ。 ・「正」を書いていくといいよ。 <p>○まず、何の数から調べたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・□年生の結果から整理したい。 ・主食と副食があるからどうしようかな。 ・まず、□年生の主食を整理しよう。 ・1～3年を全部合わせた数を調べたい。 <p>○自分なりに整理する方法を考えてやってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモ書きに人数を調べている。 ・表にして整理していく。 ・色分けしてみる。 <p>【予想される児童の考え】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主食、副食に分けて学年ごとに整理する。 ・メニューごとに総数を調べる。 ・興味のある物だけ調べたり10種類を順番に調べたりしている。 ・主食と副食に分けて3学年をいっしょに整理している。 	<p>○事前に1～3年に下記のアンケートをとっておき、全員の回答を実物投影機で映し、興味もてるようにする。</p> <p>○今までの学習を想起して、どのように整理したらいいか、みんなで話し合い、共通のめあてがもてるように支援する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>好きな給食調べ ()年なまえ () 好きな主食(パンやご飯)は? パン 白ごはん ピラフ ラーメン スパゲッティ 好きな副食(おかずやバット)は? カレー フルーツポンチ からあげ 焼魚 ビビンバ</p> </div> <p>○棒グラフや表に表すためには、落ちや重なりがないように数を調べなければならないことを確認する。</p> <p>○児童の発言を取り上げながら、整理の観点を分かりやすく板書する。</p> <p>○各自が調べる観点が分かるようにネームプレートを黒板にはらせ、個に応じた支援ができるようにするとともに、同じ観点で調べている児童が解決方法を伝えながら活動を進めていくことができるようにする。</p> <p>○アンケートの一覧を印刷したものを配布し、自由に書き込みながら作業ができるようにする。</p> <p>■どのように整理したらいいのか考えの決まらない児童には個別に尋ね、黒板の観点を参考にして整理したいことを決めるように助言する。</p> <p>■数が分からなくなっている児童には、「好きなスポーツ」調べの結果を整理した時のことを想起させ、「正」の字を使って落ちや重なりがないようにしていくようにと助言する。</p> <p>■作業の途中でつまづいている児童が多くいる場合には、全体の場に取り上げみんなの問題として一緒に考えるようにする。</p>

<p>3 みんなで話し合う。</p> <p>4 まとめをし次時の見通しをもつ。</p> <p>5 振り返る。</p>	<p>○それぞれどのように整理したのかを紹介しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとにまとめたよ。 ・主食と副食に分けて整理したよ。 ・アンケートを色分けしたり、印をつけたりして間違えないようにしたよ。 <p>○それぞれが整理した結果を見て気づいたことを発表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～さんは、学年ごとに分けているので間違いの少ない整理の仕方を工夫しているよ。 ・～さんの整理の仕方は、主食・副食の違いがとても分かりやすいな。 ・多い順番にしているので、それぞれの人数がよく分かるようになっていよ。 ・棒グラフにすると、もっと特徴がよく分かるよ。 ・もっと見やすい表に書き直すこともできそうだな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>それぞれに人数がよく分かるようになったので、次の時間は、算数通信にのせるため工夫をして棒グラフや表で表しましょう。</p> </div> <p>○今日の学習の感想を発表しよう。</p>	<p>■分からなくなった場合には、ペアや同じ観点で調べている友達に自由に質問してもよいことを確認しておく。</p> <p>○整理することができたら分かったことをまとめたり、説明の仕方を考えたりするように助言する。</p> <p>○どのような工夫をしたかに視点を当て、まず整理の仕方について話し合う。</p> <p>○児童の書き込みを実物投影機で映し、話し合いをしやすいにする。</p> <p>○次に整理した結果に着目させ、より分かりやすく伝えるための工夫の必要性に気づかせる。</p> <p>○内容を整理したことで分かることや、それぞれの学年を比べて分かることなどの統計的な視点も大切に、次時への方向付けができるようにする。</p> <p>○表に表すことができている児童がいれば取り上げて、次時への意欲づけとする。</p> <p>○整理した結果とそれについての気づきを確認し、より分かりやすいグラフや表に表そうという、次時への見通しと意欲付けをして、本時のまとめをする。</p> <p>○友達の考えのよさやがんばりを取り上げている発表を称揚し、ともに学ぶよさを感じ取れるようにする。</p>
<p>評 価</p>	<p>【評価基準】</p> <p>A：観点を決めて、アンケート結果の整理の仕方を考え、説明することができる。</p> <p>B：観点を決めて、アンケート結果の整理の仕方を考えることができる。</p> <p>【評価方法】</p> <p>ノートの記述、発表や話し合いのときの様子</p>	